

授 業 科 目	美術		
教 育 内 容	基礎分野	科学的思考の基盤 人間と生活	
担 当 教 員	青木 純子		
学 年	1	単 位 数	1
開 講 時 期	前期・後期	時 間 数	実習 30 時間

■ 授 業 概 要

ヌードデッサン・模刻を行う。

幾つかの演習を通しモノを正確に知覚する方法を学び、その上で人体、静物の特徴を捉え、再現する技術を習得する。

■ 到 達 目 標

- 1) 人体の特徴を捉えたモノの見方、及びデッサンが出来る
- 2) 立体の形状を捉えて再現出来る

■ 授 業 内 容

授業内容

第 1-4 回	見たものを見たまま描く ヌードデッサン (男性) 講評
第 5-8 回	ヌードデッサン (女性) 講評
第 9-12 回	立体を立体に写し取る 模刻 (バナナ) 講評
第 13-16 回	模刻 (サザエ) 講評

■ 評 価 方 法

製作課題と平常点での評価を総合して行う。平常点とは、積極的な授業への参加態度を評価対象とする。
製作課題 90%、平常点 10%

■ 教 科 書

特になし

■ 留 意 事 項 ・ そ の 他

<担当教員の実務経験>

武蔵野美術大学空間演出デザイン学科研究室にて副手。その後照明デザイン事務所勤務。武蔵野大学工学部建築デザイン学科研究室員(助手)を兼務(全 11 年)。2008 年より本学院義肢装具学科非常勤講師(美術)